

種名	<u>ニホンカワトンボ</u> <u>Mnais costalis</u> 
分類	カワトンボ科
形態	体長 55～60mm、後翅長 35～40mm。 原名亜種ニシカワトンボは関東以西に分布し、翅の色は♂では透明型、橙色型、褐色型の3型がある。♀はすべて透明型。後胸腹板が全体に黒色となる。 亜種ヒガシカワトンボは中部以北に分布し、翅の色は♂に2型、透明型と橙色型があり、♀はすべて透明型。後胸腹板の前半に黄斑をもつ。房総半島には翅が白濁する型が見られる。 亜種オオカワトンボは中部以西に分布し、翅脈は細かく縁紋が長い。♂に3型(透明、橙色、淡橙色)、♀に2型(透明、淡橙色)がある。
分布	北海道から九州まで広く分布する。
出現期	成虫期は5月～6月、山岳地帯では8月にも見られる。日本固有種。『カワトンボ』は、上記3亜種のなかの地理的集団を地方種族のわけて呼称されることもある。
生息環境	山地から平地の溪流に発生する。
その他	
参考文献：改定新版 世界文化生物大図鑑 昆虫Ⅰ 世界文化社 カワトンボより	